

次の文を読み問1～問3に答えよ。(2019年109回東アカ③老年)

Aさん(77歳、男性)は、50歳からの高血圧と76歳での脳血栓による脳梗塞の既往歴がある。障害高齢者の日常生活自立度判定基準はB-1である。Aさんは、一緒に暮らしている息子の都合で6週間前に5日間、ショートステイを利用した。1週間前からデイサービスを利用しており、昨日からは初めて訪問看護を利用することになった。訪問看護師が身体を観察していると、胸部と下腿部と下腹部に赤い線上疹と指間部に灰白色の線状隆起がみとめられた。強い掻破の跡があったため主治医に報告し、本日訪問診療を受けたところ、医師より疥癬と診断された。

問1

息子から「4日前に布団を買い替えたのですが、父はかゆくて夜眠れないと言っています。布団が悪かったのでしょうか」と質問があった。Aさんが感染したと考えられる時期はどれか。

- 1, 1年前脳梗塞になり入院していた時
- 2, ショートステイを利用した6週間前頃
- 3, デイサービスを利用した1週間前頃
- 4, 布団を買い替えた4日前頃

問2

訪問看護師は、Aさんの訪問看護はできるだけ最後にし、感染対策が必要であると考えた。疥癬の感染経路と防護用具で正しいのはどれか。

- 1, 飛沫感染であるためサージカルマスクが必要である
- 2, 接触感染であるため手袋が必要である
- 3, 空気感染であるためN95マスクが必要である
- 4, 水系感染であるため手洗いが必要である
- 5, 経口感染であるため食品を加熱する必要がある

問3

医師より、クロタミトンの塗布、イバルメクチンの内服が指示された。家族に対するケア指導で適切なのはどれか。

- 1, クロタミトンの塗り薬はAさんの創部にだけ塗布する
- 2, イバルメクチンは症状改善がみられたら中止する
- 3, イバルメクチンの内服は保険適応にならない
- 4, Aさんは毎日入浴がシャワー浴をして塗り薬を使用する

次の文を読み問4～問6に答えよ。(2019年109回東アカ③老年)

Aさんは(70歳、男性)は、息子夫婦と3人で暮らしている。半年前に妻に先立たれてから、自宅に引きこもりがちになっていた。最近、倦怠感と食欲不振が現れ、Aさんの様子を心配した息子さんがAさんに受診を勧め、本日来院した。息子から「父は母が亡くなってから家の中でぼーっと過ごすことが多くなり、食事あまり摂らなくなりました。認知症になっているのかなと心配しています」と訴えがあった。Aさんの既往歴はなく、内服している薬剤もない。Aさんは1人で公共の交通手段を使い、外出することができる。

問4

Aさんは検査の結果、老年期うつ病と診断され、選択的セロトニン再取り込み阻害薬が処方された。SSRIの説明で正しいのはどれか。

- 1, 速効性がある
- 2, 三環系抗うつ薬と比べて便秘になりやすい
- 3, 服用により嘔気・悪心を生じることがある
- 4, 緑内障の患者には禁忌である

問5

Aさんの息子に対して、Aさんへの接し方を指導することになった。指導内容で適切なのはどれか。

- 1, 「家事を積極的にしてもらってください」
- 2, 「励ましてあげてください」
- 3, 「受診時は1人で来てもらってください」
- 4, 「ときどき声をかけてください」

問6

3週間後、Aさんはほとんど食事を摂らなくなり、病院に入院することになった。点滴静脈内注射を開始したが、Aさんは点滴チューブを抜こうとしている。看護師の対応で適切なのはどれか。

- 1, Aさんの視界に点滴チューブが入らないようにする
- 2, Aさんの手をひもで縛る
- 3, Aさんにミトン型の手袋をつける
- 4, Aさんに睡眠薬を与薬する

次の文を読み問7～問9に答えよ。(2019年109回東アカ③小児)

Aちゃん(1歳6か月、女児)は、在胎37週4日、2750g、重症新生児仮死で出生した。骨盤位だったため、妊婦検診を受けていた産科クリニックで「外回転術」が施行された直後に心音が低下し、近医の総合病院に救急搬送され、緊急帝王切開となった。Aちゃんは、NICUで全身管理が行われ、気管切開術を受け、人工呼吸器管理中である、栄養管理は、胃瘻造設され経腸栄養管理を行っている。追視などの反応はなく、痙直性の四肢麻痺がみられるようになった。生後6か月で脳性麻痺と診断され、1歳のときに小児科病棟に転棟した。家族は在宅への退院を希望している。父親は会社員、母親は専業主婦で3歳の姉が1人いる。

問7

現在のAちゃんに起こると考えられる合併症はどれか。

- 1, 側彎症
- 2, 尖足歩行
- 3, 精神発達遅滞
- 4, 筋緊張低下

問8

退院に向けて、在宅ケアを習得するために母親が付き添うこととなった。プライマリナースが母親の医療的ケアの習得を計画的に進めている。沐浴や胃瘻からの栄養注入、口腔内・気管内吸引はできるようになった。しかし、気管カニューレの交換が怖くてできないと話す。看護師の母親への対応で適切なのはどれか。

- 1, 「気管カニューレの交換が出来なければ退院できませんよ」
- 2, 「看護師が交換するので、できなくても良いですよ」
- 3, 「気管カニューレの交換はとても重要です」
- 4, 「どうして怖いと思うのですか」

問9

退院が近づき、母親から「このような子を家に連れて帰る家族はいらっしゃいますか。上の子もいるし、ちゃんとケアできるか、どのような生活になるのか不安です。」と訴えられた。Aちゃんが在宅療養に移行するために検討する内容で最も優先度の高いのはどれか。

- 1, 姉の保育所への入所
- 2, 医療機器設置のためのリフォーム
- 3, 訪問看護師との連携
- 4, ショートステイへの入所手続き

次の文を読み問10～問12に答えよ。(2019年109回東アカ③母性)

Aさん(32歳、初産婦)は、妊娠28週3日。1時間に3, 4回の子宮収縮を訴えて入院した。入院時の内診所見は、子宮口3cm開大、展退度30%、Station-3以上、卵膜が触れる。膣分泌物でBTBは青変せず。ベッド上安静度で子宮収縮抑制薬(リトドリン塩酸塩)の持続点滴静脈内注射が開始となった。入院時、体温36.8℃、脈拍64/分、血圧118/84mmHgであった。

問10

Aさんの状態はどれか。

- 1, 前期破水
- 2, 高位破水
- 3, 切迫早産
- 4, 児頭骨盤不均衡

問11

入院後、Aさんに尿検査、血液検査が実施された。注意すべき検査項目で優先度が高いのはどれか。

- 1, 尿蛋白
- 2, PT-INR
- 3, AST
- 4, CRP

問12

入院中、Aさんに最も起こりやすいのはどれか。

- 1, 動悸
- 2, 下痢
- 3, 浮腫
- 4, 徐脈

次の文を読み問13～問15に答えよ。(2019年109回東アカ③母性)

Aさん(30歳、2回経産婦)の妊娠経過は順調で、妊娠38週3日に3800gの児を正常分娩した。分娩所要時間は6時間20分、出血量は300ml、2度の会陰裂傷があり縫合した。分娩2時間後、子宮底は臍下3横指で、硬度は良好、トイレで自尿後に車いすで帰室した。

問13

産褥1日。Aさんのバイタルサインは体温37.6℃、脈拍78/分、血圧110/74mmHgである。子宮底の位置は臍下1横指、子宮は硬く触れ、血性悪露が中等量みられる。Aさんは授乳後の後陣痛を訴えている。Aさんへの対応で最も適切なのはどれか。

- 1, 下腹部の温罨法を行う
- 2, 子宮底をマッサージする
- 3, シムス位を促す
- 4, 授乳を中止する

問14

産褥3日。「今回の母乳で育てたいと思います。上の子2人はミルクで育てたので、できるかどうか心配です。」と看護師に訴えた。児の体重は3530g。乳管開通は左右とも8～10本。乳房緊満は軽度で、授乳後にやわらかくなる。Aさんへの対応で最も適切なのはどれか。

- 1, 時間を決めて母乳を与えるよう勧める
- 2, ミルクを追加することを勧める
- 3, 泣いたらおしゃぶりを与えるとよいことを説明する
- 4, 順調な経過をたどっていることを説明する

問15

生後4日。児の体重3570g、体温37.1℃、呼吸数30/分、心拍数126/分。顔面から胸にかけて黄疸が観察される。血清ビリルビン10mg/dL。排尿7回、排便3回。母子同室で母乳のみを哺乳している。Aさんは「赤ちゃんが昨日より黄色いようですが、大丈夫でしょうか」と心配している。適切なのはどれか。2つ選べ。

- 1, 「早急に治療が必要です」
- 2, 「母乳による黄疸なので母乳は中止しましょう」
- 3, 「窓際などの明るい場所にコットを置くとよいです」
- 4, 「黄疸は肝臓が悪いために起こっています」
- 5, 「正常な範囲の黄疸です」

次の文を読み問16～問18に答えよ。(2019年109回東アカ③精神)

Aさん(38歳、男性)は、妻と2人の子供の4人暮らししており、不動産関連会社を経営している。1年前に取引先とのトラブルが発生した後から、不眠と食欲不振がみられるようになった。気分も落ち込み、半年ほど、ほとんど仕事をすることができなかった。3か月前から徐々に気分が回復し、仕事量も増えていったが、1か月前からは、気分が高揚した様子で突然「これからのビジネスプランが次々に浮かんでくる」と話し、多額の借金をしてリゾート地の土地を購入したり、ほとんど睡眠もとらずに働き続けるようになった。本日、心配した妻に付き添われ精神科病院を受診し、双極性障害と診断された。

問16

「これからのビジネスプランが次々に浮かんでくる」との訴えについて、Aさんに出現している思考障害はどれか。

- 1, 観念奔逸
- 2, 滅裂思考
- 3, 思考途絶
- 4, 連合弛緩

問17

外来受診時、多弁で些細なことで急に攻撃的になる様子がみられた。外来担当医から入院治療の必要性を説明されたが「俺の仕事を妨害する気か」と強い拒否がみられたため、妻の同意で入院することとなった。Aさんの入院形態はどれか

- 1, 応急入院
- 2, 任意入院
- 3, 緊急措置入院
- 4, 医療保護入院

問18

入院後7日間が経過した。イライラした様子で連日頻回に職場に電話している。看護師の対応で正しいのはどれか。

- 1, 頻回に職場に電話してしまう気持ちを傾聴する
- 2, 職場に迷惑がかかるため、電話をしないよう注意する
- 3, 仕事のことは考えないように説明する
- 4, 複数の看護師から安静保持の必要性を説明する

次の文を読み問19～問21に答えよ。(2019年109回東アカ③在宅)

Aさん(68歳、女性)は1人で暮らしている。3年前より手の震えが出現するようになり、最近では歩行困難も出てきた。自宅から5分のところに住む長女に勧められ、近くの病院を受診したところパーキンソン病と診断された。外来にて、レボドバの内服が開始されることとなった。長女は夫と中学生の息子と3人で暮らしており、Aさんは、週に2～3回は長女宅にて一緒に夕食を摂っている。要介護認定は受けていない。

問19

現在、Aさんにみられる症状として適切なのはどれか。2つ選べ。

- 1, 蝶形紅斑
- 2, レイノー現象
- 3, 筋固縮
- 4, 起立性低血圧
- 5, クボステック徴候

問20

突進歩行現象が強くなり、何度か転倒することがあった。現在のレボドバの用量調節が必要と判断され、薬のコントロールを目的として入院することになった。

突進歩行による転倒予防の対応として適切なのはどれか。

- 1, 振戦が強い側に立ち、Aさんと腕を組んで歩行する
- 2, 向かい合って手をつないで歩行する
- 3, つま先から床に着地する
- 4, 歩幅に合わせてビニールテープを貼るなど目印をつける

問21

Aさんが看護師に「だんだんと歩けなくなってくると自分のこともできなくなるのですね。なるべく娘には迷惑かけたくないです」と話した。Aさんの発現に対する看護師の対応で適切なのはどれか。

- 1, 「進行していく病気なので娘さんとの同席も考えてはいかがでしょうか」
- 2, 「リハビリをしっかり行えば、これからも歩けますよ」
- 3, 「介護保険の申請をすれば、使えるサービスがありますよ」
- 4, 「薬の副作用で、便秘になることがあります」

次の文を読み問19～問21に答えよ。(2019年109回東アカ③看護の統合と実践)

午前2時15分、看護師のAさん(28歳、女性)の深夜勤務中に、震度5の地震が発生した。Aさんが勤務する病棟の夜勤スタッフはAさんを含めて3人で、入院患者数は30人である。

問19

地震は継続的に続いたが、数分後、揺れが収まった。

Aさんがとる行動で最も優先度の高いのはどれか。

- 1, 他のスタッフと共に患者の安否確認を行う
- 2, 当直の看護師長と連絡をとる
- 3, 自分の家族の安否確認のために電話する
- 4, 非常用発電の確認をする

問20

病棟内の見回り中、トイレの前で倒れている男性患者を発見した。

Aさんが最初に行う対応で適切なのはどれか。

- 1, 自動体外式除細動器を取りにいく
- 2, 医師を呼びに行く
- 3, 呼びかけて反応を確認する
- 4, 気道確保を行う

問21

その後も見回り続けると、廊下で横になっている70歳代の女性患者を発見した。Aさんが声をかけると、患者は「病室に戻る途中で急に地震が来て、びっくりして転んでしまいました。太ももが痛くて、起き上がれません。他に痛むところはありません。」と話した。Aさんが患者の上体を起こそうとするだけで、大腿部の激痛を訴える。

Aさんの対応で適切なのはどれか。

- 1, 患者を支えながら起こし、ベッドまで移動させる
- 2, 他のスタッフを呼び、医師に連絡する
- 3, 鎮痛薬を内服してもらう
- 4, 痛みが治まるまでしばらく様子を見る